

皆さん、こんにちは。

少し前のことになりますが、1学期にあったうれしい出来事の中から二つお話ししたいと思います。

一つ目は、4月9日に本校で北信地区の高校の校長先生方が集まる会議が行われた時のことです。

ある校長先生が会議終了後、徒歩で長野電鉄の桐原駅に向かわれた際、道がわからず困っていたところ、本校1年生の女子生徒が丁寧に駅まで一緒に道案内をし、先生が乗車される長野駅方面のホームまで教えてくれたそうです。

当該の校長先生はとても感心してくださって、私に「吉田高校の生徒さんは親切で礼儀正しくすばらしい。私が感謝していたことをぜひ校長先生からもお伝えいただきたい」と話してくださいました。

二つ目は、6月17日に長水地区の中学校と高校の校長先生方が集まる会議が行われた時のことです。

会議が終わる際に、中学校側を代表して、ある校長先生があいさつをされたのですが、「今日、正面玄関から吉田高校に入ると、すれ違う生徒の皆さんが、次々ととても気持ちの良いあいさつをしてくれて、吉田高校の校風はすばらしいと感じました」とおっしゃってくださいました。

こうした、吉田高校のちょっといい話は、あちこちにあるのでしょうかけれど、1学期の始業式で「あいさつ」や「清掃」の励行と、人格を磨くことに努めましょうというお願いをした私としては、大変うれしい出来事でしたので、今日、こうして皆さんにお伝えしました。今後も吉田高校が、こうしたちょっといい話であふれるような学校になるとすばらしいと思います。

一方で、時には、吉田高生の校外でのマナーについて、お叱りの電話をいただくことがあることを忘れてはいけません。特にコロナ禍における行動については、周囲に迷惑をかけることがないように十分に注意してください。

引き続き、地域の皆さまからも信頼され、応援していただける長野吉田高校を、生徒の皆さんと先生方が一緒になって創っていきましょう。

さて、今年の1学期は昨年とは異なり、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した「新しい生活様式」を継続する中ではありますが、ほぼ通常に近い対面授業を行い、応援練習や生徒会最大の行事である暁峰祭も、どうしたら実施できるのかを皆さんが工夫して、成功させることができました。

様々な校内行事や講演会なども、対面とリモートを併用したハイブリット方式で行うことが定着してきました。

高体連や高文連、高野連に係る各種大会も感染症対策を施した上で開催され、日頃の活動の成果を発揮することができました。

様々な制約があるコロナ禍ではありますが、それを機に日々の生活を充実させる

新たな工夫や対応方法が皆さんの知恵で生み出されています。

7月15日に実施された「心と命の講演会」で、スクールカウンセラーの月岡先生がストレスに対処する方法として「コーピング」を紹介してくださいました。その中で、「認知を変える」すなわち、「ストレスの原因に対して見方を変えて前向きに受け止める」というお話しをされたことが印象に残っています。

もうしばらくはwithコロナの状況が続きそうです。認知を変える視点を持って、コロナ禍においても、しなやかに日々の生活を送る工夫を心がけていきましょう。

最後に、夏休みになると、普段会わない方と会う機会も生じてくると思います。県内の感染状況も拡大傾向にあり、長野県は7月22日から8月22日までを「感染対策強化期間」と位置付けています。引き続き、毎朝の健康観察やマスクの着用、手洗いや手指消毒といった基本的な感染症対策の徹底をお願いします。

また、食事など、マスクをはずす際には、感染のリスクが高まります。他者と向き合わずに会話を控えるなどの配慮をお願いします。

あわせて、この感染症に関わって不当な差別や偏見が生じることのないよう、寛容や共感、協調を大切にされた行動をお願いします。

各自が可能な感染症予防対策に努め、9月1日には、また全ての皆さんの元気な顔を見せてください。